

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		浅草文化観光センター運営					所管	文化産業観光部 観光課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	34	計画事業名	浅草文化観光センターの運営			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] I-2. まちの魅力の創出					[事業開始] 昭和60年度			
		[小 柱] (1) 観光資源の再発見と活用の推進					[終了予定] - 年度			
		[施策] ②観光案内と情報発信の充実								
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区浅草文化観光センター条例・条例施行規則						
	事業対象	観光客及び一般区民								
	事業目的	台東区の観光拠点として、「探せる・見せる・支える」をコンセプトに、台東区を訪れる観光客への利便性を高めるとともに、区内の回遊性・回帰性を図る。								
	事業内容	4か国語(日、英、中、韓)の観光案内や検索PCを無料で利用できる観光情報コーナーの設置、台東区無料公衆無線LANの全館対応など、観光客の利便性を高めるサービスを提供している。また、一般区民等の打ち合わせ場所として会議室を設置、運営している。								
委託の有無	一部委託	委託内容	観光案内業務、清掃業務、警備業務 他							
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度			
	活動指標	開館日数	日	365	365	365	365			
		展示会開催日数	日	355	349	355	353			
	成果指標	来所者数	人	1,200,000	1,064,201	1,185,268	1,202,784			
		会議室利用率	%	65.0	58.0	61.0	62.0			
	決算額	(単位：千円)			110,179	101,851	125,608			
	事務事業コスト	(単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)		29,218	28,171	30,179			
			物にかかるコスト(物件費・維持補修費)		110,180	101,819	116,436			
			その他のコスト(扶助費・補助費など)		0	32	9,172			
			総経費		139,398	130,022	155,787			
財源項目	(単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)		63,108	56,869	58,534				
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)		0	0	10,514				
		一般財源(区負担額)		76,290	73,153	86,739				
前回評価から改善した事項	デジタルサイネージを屋外、屋内に各2台設置し、情報発信機能の強化を行うとともに、台東区無料公衆無線LANを全館対応し、観光案内機能の強化を行った。また、東京都から「広域的な観光案内拠点」の指定を受け、4階研修室を「観光ボランティア事務室」に改修し、東京SGGクラブ、台東区観光ボランティアの会、街なか観光案内の事務室とした。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	外国人を含めた観光客の増加に伴い、来所者は年々増加している。また、会議室の利用も増加しており、観光センターの必要性はますます高まっている。							
	効率性	3	専門的な業務について、効率的に委託して運営している。							
	手段の適切性	3	区直営施設として、区的意思を反映しながら委託業者と連携して効果的に運営している。							
	目的達成度	3	来所者数及び会議室の利用件数は年々増加しており、観光客の利便性及び区内の回遊性・回帰性の向上を図るという目的はおおむね達成している。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			
平成24年4月のリニューアルオープン以来、来所者は年々増加している。2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け増加が見込まれる国内外からの観光客の利便性と区内の回遊性をより高めるため、デジタルサイネージの設置や台東区無料公衆無線LANの全館対応等、観光センターの機能の強化を図っている。						維持				